

平成25年度の主な活動

平成25年

- 4月6日(金) 9:30～役員会 於：新町会館(以後役員会は毎月土曜日午前中または金曜日、新町会館で)
 4月17日(木) 9:30～11:00 24年度総会資料印刷など
 4月27日(土) 10:00～谷川士清の会25年度総会 於：図書館2階研究会議室

- ① 24年度決算・25年度予算案及び行事計画案など審議、質疑応答。
 ② 講演：中央公民館 山口 格氏：「通俗資料に見る神宮の変遷」－谷川士清の神道との関係
 その他「まなびの葉」第2号刊行 会報「たまむしの森」第14号発行

5月10日(金) 士清まつり(一般公開)

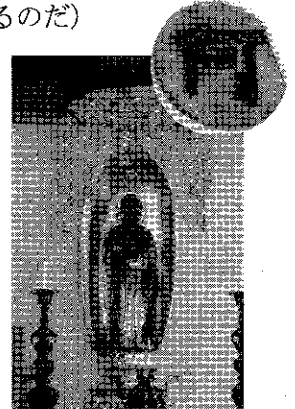
- ① 講演：「薬草について」南漢方薬店主 南 壽氏(案外身近なところに薬草はあるのだ)
 ② お茶会と史跡めぐり(2班) 呈茶券300円～記念タオル進呈

6月2日(日) 津ふるさと学検定現地研修会(参加者24)

A班馬場・谷口 B班佐野・山下 10時津新町駅で受け付け、班別にご案内。

八町松原一六阿弥陀(中へ入れてもらって「阿」字を確認)

ここからは、旧宅一反古塚へ行ってから延命地藏を経て納所への班と、先に納所(神宮寺・道場)へ行ってから旧宅への班に分かれた。この班は国魂神社～龍津寺まで行って解散。



親子洞津谷川塾 8月4日(日) 9:30～12:00

親子洞津谷川塾(小学校4・5年生と保護者)津市教委生涯学習課共催

- (1) 9:30～9:40 開会(松尾主幹)・挨拶(野田課長)、スケジュール説明(田中副主幹)
 (2) 9:40～10:10 講話;奥田榮子(会員)「谷川士清について」
 (3) 10:20～10:50 史跡見学(会員による案内) (4) 11:00～12:00 お茶会(会員によるお点前で)

会員勉強会 全4回 6月～1月(第3土曜日10時～11時半 図書館研究会議室で)詳細は「まなびの葉」参照。
 一「『倭訓栞』の中の万葉歌について」講師;片山 武氏(会員・元金城学園大学文学部教授)

『倭訓栞』中の「萬葉集にあり」という表現について『増補語林和訓栞 上巻』の下欄の記述をもとにして士清が『万葉集』の語句をどう理解し、とりあげているか、士清の説明を『時代別国語大辞典上代編』『新編日本古典文学全集 萬葉集①～④』(小学館刊)その他の万葉集の諸注釈書の説明を比較、検証し、士清の万葉集理解が、現在の万葉集研究とどうつながっているかなどを考察した。「」内は扱った語句。

- ① 6月15日(土)「おも」「おもかげ」「おほなご」「おほなんぢ」「おももち」「おもなみ」
 ② 7月20日(土)「おもひぐさ」「およし」「およづけ」「おほとる」「おほなわ」「おほに」
 ③ 9月21日(土)「おほのかはら」「おほゑやま」「おほそどり」「おほふね」

二 ④ 26年1月18日(土) 講師;山本浩子氏(会員 皇學館大学大学院卒、国語学懇話会会員)

テーマ「『和訓栞』とキリスト教関連の見出し語」について

江戸時代は鎖国の時代であったのに、増補語林本の『倭訓栞』には「いたりや」「ろうま」「おらんだ」等の外国の地名とともに「きりしたん」「はてれん」「ふみえ」「ころび」等が収められている。士清が江戸時代の日本のキリスト教について総合的な知識を持ち、優れた情報収集能力を持っていたことがわかる。

自主勉強会「改訂谷川士清小伝」輪読会(主として新入会員対象) 参加は延35人 於：谷川士清旧宅

- ① 11月15日(金) 9:30～11:30 巻頭の士清像と氏の漢詩、略伝、旧宅修復、生きた時代。
 ② 11月22日(金) 9:30～11:30 父義章(医号順端)と士清幼少時、士清の京都遊学とその成果
 ③ 11月29日(金) 9:30～11:30 洞津谷川塾・森蔭社、恒徳堂、日本書紀通証と和語通音、和訓栞。

寒い時期に寒い部屋で机を囲んで小伝を読みながら、士清の業績を確認し顕彰するための基礎勉強。熱心な雰囲気、説明する側の資料不足の感もあった。途中になっている為、次年度気候の良い時に続きを。

士清講演会「谷川士清の会設立15周年記念講演会」(会員募集兼ボランティア養成講座)一般公開

1. 9月6日(金) ①10時～11:40 ②11:40～12:00 39名参加(一般19)

- ① 講演：「士清さんの面白さ」講師：吉田悦之氏(本居宣長記念館館長)
 ② 報告：「谷川士清の会の歩みと現状」講師：馬場幸子(谷川士清の会代表)